

九州女子大学
家政学部 栄養学科

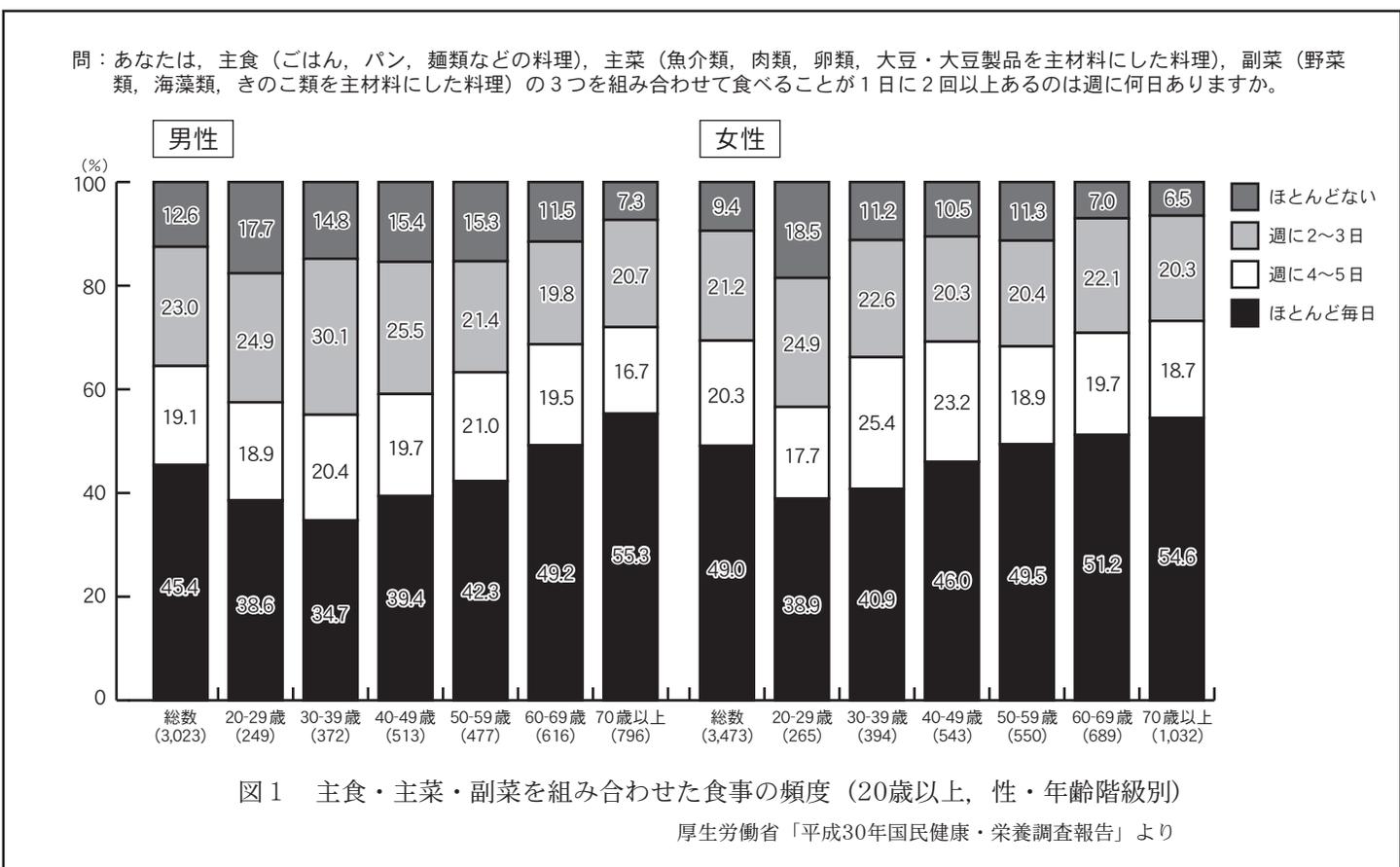
令和3年度 一般推薦選抜
技能特待生選抜
小論文

九州女子大学 家政学部 栄養学科

令和3年度 一般推薦選抜・技能特待生選抜

小論文 試験問題 (1/2)

I 図表は、平成30年に実施された「国民健康・栄養調査」の結果のうち、栄養バランスのとれた食事に関する設問の回答結果を示したものである。図1は、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度（20歳以上、性・年齢階級別）、表1は、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度が週5日以下と回答した者における主食・主菜・副菜の3つを組み合わせることがバランスの良い食事になることを知っている割合（20歳以上、性・年齢階級別）、図2は、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせる食べることができない理由（20歳以上、性別）を表している。問1～3に答えなさい。



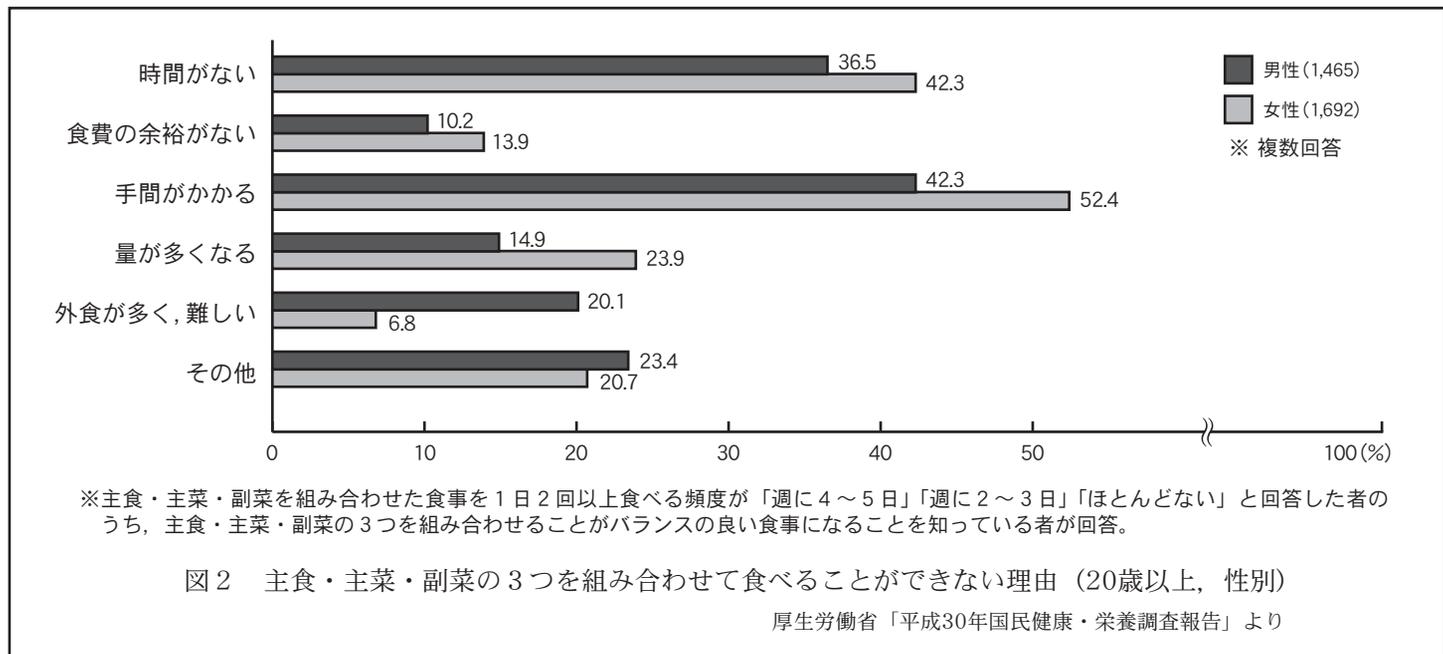
問：主食・主菜・副菜の3つを組み合わせるとバランスの良い食事になることを知っていますか。

		総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
男性	総数	1,651	88.7	153	89.5	243	89.3	311	88.7	275	93.5	313	85.3	356	87.4
	週に4-5日	577	92.5	47	100.0	76	94.7	101	96.0	100	95.0	120	90.0	133	86.5
	週に2-3日	694	89.3	62	90.3	112	92.0	131	86.3	102	93.1	122	88.5	165	87.9
	ほとんどない	380	81.8	44	77.3	55	76.4	79	83.5	73	91.8	71	71.8	58	87.9
女性	総数	1,771	95.5	162	95.7	233	98.3	293	96.6	278	97.5	336	96.7	469	91.5
	週に4-5日	706	97.3	47	95.7	100	98.0	126	98.4	104	99.0	136	98.5	193	94.8
	週に2-3日	738	94.3	66	95.5	89	98.9	110	95.5	112	97.3	152	96.7	209	88.0
	ほとんどない	327	94.5	49	95.9	44	97.7	57	94.7	62	95.2	48	91.7	67	92.5

※主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べる頻度が「週に4~5日」「週に2~3日」「ほとんどない」と回答した者が回答。

表1 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度が週5日以下と回答した者における主食・主菜・副菜の3つを組み合わせることがバランスの良い食事になることを知っている割合 (20歳以上、性・年齢階級別)
厚生労働省「平成30年国民健康・栄養調査報告」より

九州女子大学 家政学部 栄養学科
令和3年度 一般推薦選抜・技能特待生選抜
小論文 試験問題 (2/2)



問1 図1, 2および表1を見て, 下記の空欄 ~ に当てはまるもっとも適切な数値または語句を記入しなさい。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べることが、「ほとんど毎日」と回答した者の割合は, 男性 %, 女性 %であった。年代別にみると男女ともに若い世代ほどその割合が 傾向にある。主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度が週5日以下と回答した者のうち, 主食・主菜・副菜の3つを組み合わせるとバランスの良い食事になることを知っている者の割合は, 男性 %, 女性 %であった。また, 知っている者のうち, 主食・主菜・副菜の3つを組み合わせることができない理由は, 男女ともに の割合がもっとも高かった。

問2 それぞれの図表の結果の特徴を100字以内で述べなさい。その際, 問1の内容を除くこと。

問3 管理栄養士をめざすあなたが「バランスの良い食事」に近づけるために, 具体的にどのような対策や工夫を行えば良いかについて, 図表の結果を含めあなたの考えを400字以内で述べなさい。

メモ用紙

(※このメモ用紙はお持ち帰りください)

